

(1)事業の概要等

事業番号	B1102
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和4年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	休日急病診療所運営事業					担当部			健康生きがい推進部		
	事業期間	平成16年度	～	令和6年度以降		担当課			保健センター			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	11	展開 方向	2	担当係			予防検診係		
	予算区分	一般会計	款	4	項	1	目	1	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	-					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	休日の一次医療として、内科、小児科、外科、歯科の急病者の診療をする。休日における一次医療として、内科、小児科、外科、歯科の診療を実施することで、休日の急病に対応する。										
	対象 (何・誰を対象に)	休日に急病(軽症患者)になった市民										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>休日急病診療所運営に関する支出： 医師会・薬剤師会・歯科医師会への委託費等の支出及び休日急病診療所の施設設備管理等に係る支出</p> <p>・平成16年度から、休日の急病に対応するため、一次医療として、内科・小児科・外科・歯科の診療。 ・日曜日・祝日・年末年始 ・内科、小児科、外科の診療時間 午前9時～正午、午後1時～午後5時 ・歯科の診療時間 午前9時～正午</p>										
受益者負担	無											

(2)事業費

事業費	項目	単位等	H30	R1	R2	R3	R4		
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	57,555	59,801
			国・県支出金	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			計(A)	千円	57,555	59,801	54,109	51,760	
			対前年比	%	—	3	△9	△4	
			予算額	千円	53,509	58,196	59,381	63,640	64,958
	人件費		正規職員	人	1	1	1	1	
			正規職員(平均賃金)	千円	7,486	7,486	7,486	7,486	
			その他職員	人	0	0	0	0	
			その他職員(時給×時間)	千円	0	0	0	0	
			計(B)	千円	7,486	7,486	7,486	7,486	
			事業費合計(C=A+B)	千円	65,041	67,287	61,595	59,246	

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		11	展開方向		2	
指標名		単位	方向性	基準値	R1	R2	R3	R4
1	休日診療所受信者のうち適正受診者割合	%	↗	83.7	82.2	71.8	-	
2	休日に急病で医療機関を受診できずに困ったことがある市民の割合	%	↘	14.7	10.5	11.0	-	
3								

指標ほか		単位		H30	R1	R2	R3	R4
指標	成果指標	受診患者数	人	目標	—	—	—	—
				実績	4,258	4,145	1,221	1,509
	活動指標	年間診療日数	日	目標	—	—	—	—
				実績	72	77	70	70
	単 位 事 業 あ た り 費	受益者数(a)	人	目標	—	—	—	—
				実績	4,258	4,145	1,221	1,509
単 位 事 業 あ た り 費	受益者あたり事業費 (=C/a)	円	目標	—	—	—	—	
			実績	15,275	16,233	50,446	39,261	

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの	
	事業の達成状況と課題	<p>令和3年度の、休日急病診療所運営事業を実施した結果、前年比として増加傾向となった。これは、新型コロナウイルス感染症に関する、受診者によるものと思われる。また、今後、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、インフルエンザ感染に関し受診者が増加される可能性がある。(新型コロナウイルス感染症の影響のなかった令和元年度まではインフルエンザ感染者の受診患者数が多かったため、その状態に戻る可能性を危惧している。これは、マスクの着用が影響していると思われる。)</p> <p>現時点では、事業の維持を図る必要がある。</p> <p>なお、課題としては、休日急病診療所の設立当初と比べると、現在、市内で休日診療を行っている医療機関が増えているため、将来的には休日急病診療所自体の必要性を検討していくべきであると考えます。</p>		
今後の実施内容	<p>今後も、事業の見直しを検討しつつ、休日の急病に対応するため、一次医療として、内科・小児科・外科・歯科の診療を行うため、事業のボリュームを維持して行う。</p>			
事務事業評価による額	千円	節	細節	細々節